

令和2年1月28日

蕨市長 頼高 英雄 様

蕨市行政改革プラン策定に係る市民懇談会

会長 林 大樹

新たな行政改革プラン策定に対する意見について

蕨市行政改革プラン策定に係る市民懇談会は、市長より委員の委嘱を受けて令和元年7月17日に発足し、令和元年12月25日まで3回の会議を開催するなかで、令和2年度からを計画期間とする新たな行政改革プラン策定について意見交換を交わしてきた。

少子高齢化の進展や、行政ニーズの多様化等の社会状況のなかで、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンを推進し持続可能な都市経営を着実に進めていくためには、時代の変化に的確に対応しながら、引き続き行政改革を進めていくことが重要であるとする。

こうした考えのもと、本懇談会で挙げられた意見について、以下のとおり整理したので、新たな行政改革プラン策定にあたって、またその後の各施策・事業の推進にあたっては、各意見について十分に配慮・検討されたい。

1 協働の更なる推進

- ・防災・防犯の分野など、近年の災害等の発生状況を踏まえ町会等の地域コミュニティや関係機関との連携の仕組みをさらに整備していくことが必要である。
- ・地域の団体や市民活動団体などに加え、民間事業者との連携等も重要である。また、交流都市等地域間での連携も推進する必要がある。
- ・協働事業提案制度について、引き続き活性化に向けた工夫に取り組む必要がある。
- ・高齢化の進展等の中で、町会などの地域活動や市民活動の担い手確保について工夫が必要となっている。
- ・商店街の活性化について、市民や様々な人と協働で進めていく必要がある。
- ・外国人人口が1割に達しようとしている中で、多文化共生の体制を速やかに整えるとともに、

- ともに蕨に暮らす市民としての意識の醸成やコミュニティへの参加の促進を図る必要がある。
- ・教育、消費、雇用など様々な分野で多文化共生の環境づくりを進め、地域生活における相互理解の促進と地域の活性化につなげていく必要がある。
 - ・多文化共生の環境づくりを進めるためには、従来のボランティアに加えて、外国籍の学生等も含め、多様な主体との連携とともに、支援のあり方の検討も必要である。

2 職員力・組織力の更なる向上

- ・市の職員について、限られた人員の中で職員力を発揮し行政サービスの向上を図るため、民間のノウハウの取入れや、民間経験者等も含め優秀な人材の確保を図るとともに、人材育成を進めることが重要である。
- ・市職員の間力や対話力の向上を図り、蕨を支える地域のリーダーを育成する取り組みが必要である。
- ・健康で元気に働く職員・職場づくりの推進として、メンタルヘルス対策等について、対象者に適切な対応をとることが重要である。
- ・公務員制度改革などに対応した高齢期の雇用の拡大について、経験豊かな職員の知恵や技術の活用を積極的に図ることが重要であるとともに、年齢構成に留意し、世代間の強みを活かしあう効果的な行政運営を図ること必要がある。
- ・組織について、時代の流れや、新庁舎の建設等を踏まえた機構とその横断的な連携、また適材適所の人事配置等により、効率的・効果的な組織運営を図る必要がある。
- ・様々な分野でのIT化等を時代に即した形で進め、市民サービスの向上や業務の効率化を図ることが必要である。

3 自律した行財政運営

- ・市税等について、滞納対策を更に具体的な手立てを講じながら進めるなど、一層の自主財源の確保を図る必要がある。
- ・住みやすいまちづくりを進めることで市内への転入・定住を促すなど、税収の確保を図ることが必要である。
- ・行政評価の活用もふくめ、更に効率的・効果的な事務事業の実施に向けた見直しを図っていく必要がある。
- ・蕨市立病院や土地開発公社について、より一層、健全な経営を進めていく必要がある。
- ・財政健全化とともに市民に夢を与える投資は重要であり、蕨の顔となる蕨駅西口再開発について、市民の声を聴きながら進めてほしい。